

# 令和7年度 これまでに寄せられた声(その他に関すること)

2026.3月末時点

No	伝えたい意見や考え	意見に対するコメント
1	<p>音楽が盛んな市になれば！と思います。実際に音楽で気持ちが楽になったり病気の症状が落ち着くという方もみたことが数人あります。なので、南相馬市を元気つけるためにも音楽をもっと盛んにしてほしいです。まず、吹奏楽をやっている仲間が集まれる場を増やしてほしいです。他校の良いところを学んでもっとよりよい音楽ができるとおもいます。なのでバンドフェスティバルだけでは足りないとおもいました。</p> <p>次に、楽器を気軽に練習できる場所を作って欲しいです。ゆめはっとなどあるかもしれませんが、1人で練習には中学生にははいりづらいです。なので気軽に練習できる場所を作って欲しいです。木管楽器は太陽にあててはいけないうちの練習場所を作って欲しいです。</p> <p>音楽で人の心を動かせるのなら、それをやってみたい。それに今年は、東北、全国に吹奏楽コンクールで出場した、する学校が3校もあるのでなおさら音楽で栄えるとおもいます。逆に栄えられるのは今しかないおもいます。なので、十分な検討おねがいします。騒音の問題で家では練習が難しいのでそんなところがあると嬉しいです。それに天候関係なく練習できる場所が本当にほしいです。</p> <p>検討よろしくお願ひします。長文失礼いたしました。</p>	<p>音楽で街を元気にしたいという想いをご提案をいただき、ありがとうございます。市内学校の東北大会等への出場という快挙は、私たち市民にとっても大きな誇りです。</p> <p>ご意見いただきました「交流の機会」と「練習場所の確保」について、以下の通り回答いたします。</p> <p>1. 交流の機会について 学校の枠を超えて練習する切磋琢磨できる機会は、技術の向上や仲間づくりに有効と考えています。市内には、ゆめはっとウインドオーケストラなど経験ある社会人が所属している楽団もありますので、ご興味がある場合は、保護者の方ともご相談の上、お問い合わせください。</p> <p>●ゆめはっとウインドオーケストラ情報（ホームページ） <a href="https://yumehat.or.jp/ywo/">https://yumehat.or.jp/ywo/</a></p>  <p>2. 練習場所について（既存施設の活用） 室内で楽器の演奏ができる場所については、現在の公共施設や予算の状況から、新しい施設を建てることは難しいと考えますが、南相馬市民文化会館ゆめはっと（登録すればネットでの予約可能）や、生涯学習センターの会議室なども練習場所として利用できますので、ぜひご活用ください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="1409 850 2033 1092" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●市民文化会館(ゆめはっと)施設に関する問い合わせ先</p> <p><a href="https://yumehat.or.jp/facility-reservation/">https://yumehat.or.jp/facility-reservation/</a> TEL:0244-25-2761</p>  </div> <div data-bbox="2062 850 2686 1092" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●生涯学習センターについて</p> <p><a href="https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/culture/shogaigakushu/2/index.html">https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/culture/shogaigakushu/2/index.html</a></p>  </div> </div>
2	<p>近隣住民とのトラブルを相談できるような場所がほしい。</p>	<p>市では、なんでも相談会として弁護士等の専門家が様々な相談を無料で応じています。相談は予約制になっていますので、市民課にお問合せください。</p> <p>【URL】 専門家によるなんでも相談会 <a href="https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/life/shiminsodan/4056.html">https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/life/shiminsodan/4056.html</a></p> <p>弁護士によるなんでも相談会 <a href="https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/life/shiminsodan/4522.html">https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/life/shiminsodan/4522.html</a></p>
3	<p>最近火事が多い 消防士の見回りを増やしてほしい。</p>	<p>南相馬市では、南相馬消防署、南相馬市消防団、南相馬市女性消防隊など多くの方が火災予防のため見回りや予防広報活動を行っており、引き続き、火災被害の防止のため活動してまいります。</p> <p>ところで、火災の主な原因は、件数の多い順に、たばこ・たき火・こんろ・電気機器 等となっております（令和6年中・消防庁調べ）、火災予防には私たち一人ひとりの日ごろの注意がとても大切です。下にいくつか重要なポイントの例を挙げますので、ご家庭や身の回りに危険がないか確認してみてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①こんろやストーブの周りに燃えやすいものを置かない。</li> <li>②火を使うときは、火のそばを離れない。</li> <li>③コンセントはこまめに掃除し、ほこりをためない。</li> <li>④自宅には住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検する。</li> <li>⑤ごみの焼却（野焼き）は行わない。</li> </ol>

4	南相馬市の広報を各学校に一部送る (送った一部を印刷して、各学級に配りそれを生徒たちが見えるところに掲示してみる)	今、広報紙は市内の小学校や中学校に1部ずつお届けしています。でも、それをコピーして各学級に配ると、ちょっと大変な作業になってしまいます。そこでおすすめののですが、市のホームページでも広報紙を見ることができるようになっています。ぜひそちらをご利用してほしいと思います。
5	街の人ともっとコミュニケーション が取れるような街になったらいいなあー。	街の人同士のコミュニケーションが増えることは、住みやすい街づくりにつながる大切なことですね。住みやすい街づくりにつながる大切なことですね。市では地域のお祭りやイベント、交流会などを通して人と人がつながる活動を応援するため、地域の活動に補助を行っています。近くでイベントなどがあったときには、ぜひ参加してみてください。
6	駅前の商店街のシャッターが閉まっている部分にお店や交流ができる場所を作れば、南相馬市がもっと明るくなると思います。	市では、商店街の活性化を図るため、閉店したお店を活用する事業者に対して支援する「商店街空き店対策事業」に取り組んでいます。お店の改修費用や家賃の一部に補助金を出すことにより、新たな創業者を支援し、市民が訪れたい魅力ある店舗等を創出し、商店街への集客力を向上していきたいと考えています。
7	以前から通学時や休日のショッピングモールなどで外国人の方を見る機会が増えたように感じます。 自分が小さい時は、市内にあまり外国人の方がいないと思っていたので、急に数が増えたようで戸惑いを感じます。 南相馬市で外国人の移住について何か政策を行なっているのでしょうか？	南相馬市でも仕事をする人が足りないという課題があり、多くの外国の方がその力を貸してくれています。外国の皆さんも地域の大切な仲間として安心して暮らせるよう「多文化共生センターSAKURA」設置されました。ここでは生活の相談や日本語の学習ができるほか、イベントを通して地域の人と友達になれる場も作っています。市ではお互いの文化を尊重し、助け合えるまちづくりを、大切に進めています。
8	SNSや地上波テレビで野馬追の情報や魅力をたくさん発信して日本や世界の人たちにもっと野馬追について知ってもらいたい。	市や野馬追を運営している（一社）相馬野馬追では、公式SNS（エックス）を使って情報を発信したり、テレビやインターネットで動画を配信したりしています。これからも、もっと多くの人に相馬野馬追のすばらしさを知ってもらえるよう、がんばって情報を伝えていきます。
9	農業生産額を戻すために若い人たちに農業のやり方や農業の楽しさを教えたり収穫の体験学習などをやったりしたらいいと思う。	収穫体験などを通して農業の楽しさを知ってもらうことは、将来、農業に関わる人を増やすことにつながります。南相馬市には、「みらい農業学校」がありますので、この学校を活用することで、農業を学び、仕事として考えるきっかけになります。農業に少しでも興味をもった人は、ぜひ将来、農業学校への入学を目指してほしいと思います。
10	医療機関が少なくなっているから、住民の健康意識をもっと向上させる取り組みをSNSなどで広める活動をすると思います。	市では、「みなみそうま健活ポイントアプリ」を使って、市民が「歩数」「食事」「運動」「体重」「睡眠」等を記録し、日々の生活を振り返り、健康意識を高めてもらえるよう取り組んでいます。また、アプリでは、健康に関する記事や、市の事業、イベントのお知らせを配信しており、アプリを開くだけで自然と健康意識が高められる仕組みになっています。多くの方に活用いただけるようにさらに市のSNS等で周知していきたいと思っております。

11	<p>医療に関してですが、救急でも対応ができるような病院や皮膚科などの専門的な科を増やして欲しいです。 何かあっても遠かったら大変なので！</p>	<p>市内には、救急の対応を行っている病院が4か所（大町病院、小野田病院、鹿島厚生病院、市立総合病院）あります。 また、市内において皮膚科の診療を行っている医療機関は、大町病院、鹿島厚生病院、市立総合病院、たなベクリニック等がありますが、診療施設が少なく、ご不便をおかけしております。 市では、安全かつ安心な医療サービスを受けることができるように市内で不足する診療科（小児科・産科・耳鼻咽喉科・皮膚科）の誘致に向け、開設に係る費用の一部を助成する取り組みを行っております。これからも医療を充実できるように取り組んでいきます。</p>
12	<p>私たちは、社会科の授業を通して相馬野馬追いの継承に向けて、環境安全面という点に着目して学習をしてきました。この問題に着目した理由は、話を聞いて環境安全面に課題があることを知ったからです。 この課題に対して、熱中症対策を徹底すると良いのではないかと考えました。 例えば、行列で使う道にミストを設置する。騎馬武者やお客さんや馬が水分補給や熱中対策になる食べ物を買える場所を設置する。そして、観覧席に屋根を設置して直射日光を防ぐようにする。などが良いと思いました。 これらのアイデアの中でも、特に水分不足や栄養不足による熱中症を解決することが重要だと思いました。最も根本的な問題は、気温の上昇や観覧に夢中になって水分補給などを忘れてしまうによって起こると考えられ、水分不足や栄養不足の点を第一に解決することで、他の点も良くなっていくと考えました。 飲み物や食べ物を寄付するために市の中・高生が作る時間を取ると良いと思いました。材料費は人々の募金などを利用すると良いと思いました。 一方で効率という面での視点も大切にしなければならないと思います。そのためミストを設置して、効率良く熱中症対策を行うのが大切だと思いました。 そのためのアイデア（解決策）としてはじめに挙げた騎馬武者やお客さんや馬が水分補給や熱中対策になる食べ物を買える場所の設置を提案します。</p>	<p>相馬野馬追の環境安全面について熱心に考え、提案をいただきありがとうございます。みなさんが相馬野馬追をもっと良くしようと考えてくださったことはとても嬉しく、心強く感じました。 相馬野馬追は令和5年度までは7月末に開催していたので、多くの人や馬が熱中症などになりましたが、令和6年度からは開催日程を5月末に変更しました。このため、暑さのために体調が悪くなるという心配はほとんど無くなりました。 今後も状況に応じ水分補給のアナウンスも行うなど注意していきます。</p>

13	<p>相馬野馬追の継承について、私たちは次のように考えました。</p> <p>意見 キッチンカーを出す。</p> <p>理由 建物を建てると、その土地の家賃がかかるし、南相馬市の一部を占領しているから結局は野馬追よりお金がかかると考えました。→移動できるキッチンカーならば、お金はガソリン代や光熱費、税金、オイル等の維持品です。</p> <p>キッチンカーの必要性は、野馬追の宣伝のため、観光客不足の改善のため、幅広い世代に知ってもらうため、お金を稼ぐためです。</p> <p>キッチンカーの商品はご飯とスイーツです。どちらもワンコインで済ませます。高いものと安いものとは手の出しやすさが違ったり、今時のキッチンカーは大体800円以上かかってしまうし、物価高も進んでいる中なので、どの年代にもお財布に優しい+見栄えもよくすれば若者の目も惹かれるかと思えます。今時はインスタなどのSNSがあるので、見栄えも良くすればもしかしたら投稿してもらえるかもしれないと思います。それが人気になれば県外からも来てくれるかもしれないと考えました。相馬野馬追の日限定品にすれば、限定品を求める消費者心理から、沢山のお客さんを集められるし、一石二鳥と考えます。もしキッチンカーの人手が足りなければ、ボランティア活動をする(高校生から大人)。材料は道の駅と南相馬市のイオンから揃えるのが良いと思います。</p> <p>それを行うためには、お祭りなどで出ているキッチンカーの企業の方をお願いして、キッチンカーの台数を増やせばいいのではないかと思います。一つの台だと人気になればなるほど、混むし足りなくなってしまうと思ったからです。</p> <p>ご飯、スイーツの提案(100~500円程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬の形をした大判焼き</li> <li>・道の駅に売っている野菜やお肉を使った焼そば</li> <li>・新規争奪戦をイメージにしたソーダ水色(空に上がった御神旗を取るイメージ)</li> <li>・旗の模様のカステラ</li> <li>・ずんだや抹茶のソフト</li> <li>・馬の形のクッキーを添えたクレープ</li> <li>・海鮮焼き</li> <li>・丸曜紋の価値をしたあいすまんじゅう(フレーバーをたくさん用意)</li> <li>・モモシェイク(シェイクの上に桃を添える)</li> </ul> <p>すべてミニサイズを作れば良いと思います。</p>	<p>相馬野馬追の開催日には全国各地から(あるいは海外からも)たくさんの方が南相馬市に来ます。その人たちにもっと楽しんでもらえる、満足してもらえるための取り組みとしてキッチンカーを出し、さらには南相馬市の特産品や野馬追をイメージした商品を作り、その売り上げの一部を馬の飼育代などにする、という考えはとても素晴らしいアイデアだと思います。雲雀ヶ原祭場地での露店販売については、祭場地内は土産品店会さま、旧国道沿いについては原町商店連合会さまが管理していますので、みなさんのアイデアをお伝えしたいと思います。</p> <p>みなさんには、このアイデアを実現するためにはどうしたらいいかをさらに考えていただければうれしいです。例えば、どのように商品を作るか、誰が販売するのか、そしてどうやって多くの人に知ってもらい、買ってもらうかなどについて、先生や市内のお店の人の話を聞きながら、もっと深く学んで、みんなで協力して実現できるように考えてみましょう。</p>
14	<p>私たちは、社会科の授業を通して相馬野馬追の継承に向けて「後継者の不足」という点に着目して学習をしてきました。</p> <p>私たちはこの「後継者の不足」という課題に対して、複数の解決案を用意しました。</p> <p>一つ目は、組み飴を野馬追当日や道の駅などで販売すると良いのではないかと案です。内容としては、野馬追の絵柄をモチーフにした組み飴を野馬追当日や道の駅で販売し、野馬追の1日目、2日目、3日目で絵柄を変えたり(御神旗、馬、兜)、組み飴の中に御神旗のキーホルダーをランダムに入れたりすると良いと思いました。</p> <p>これを行うことにより後継者不足を解消できるのではないかと考えました。</p> <p>二つ目は、南相馬市のマスコットキャラクターである、「のまたん」を参加させるといいと考えました。具体的には商品販売をする売り子として参加してもらうことで、より魅力を伝えられると思いました。</p> <p>最後に、その販売の利益の30%を馬の飼育費用や運営資金にあてることによって相馬野馬追の経済的問題に貢献しながら相馬野馬追に興味を持ってもらえると考えました。</p> <p>このようなことを通して、相馬野馬追の伝統を守りつつ、地域経済の活性化を図れると思います。</p> <p>これらのことから、以上三つの案を提案します。</p>	

15	<p>私たちは、相馬野馬追の継承に向けて次のようなことを考えました。相馬野馬追のオリジナルスイーツやフードをつくり、観光客や子供からの興味をひく。夏場に開催されるので、アイスなどの冷たいものを熱中症対策のために販売する。</p> <p>相馬野馬追オリジナルスイーツ：モナカアイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モナカの皮： 伝統的な「九曜紋（くようもん）」や、馬に跨る武者の姿を立体的に浮き上がらせた（刻印した）デザイン。</li> <li>・中身のアイス： 野馬追の「黒馬」を連想させる黒ごまアイスや、草原を駆けるイメージの抹茶アイス、あるいは旗印の鮮やかさを表現したフレーバーの組み合わせ。</li> <li>・熱中症対策として、梅を入れたアイスー子供でも 食べれるような福島県産の桃を使ったアイスなど。</li> <li>・アクセント： 旗指物をイメージした小さなピックを添えることで、よりお祭りらしい雰囲気演出。</li> <li>・相馬農業高校の方々に製作の協力を依頼するといいと思います。</li> </ul>	<p>相馬野馬追の開催日には全国各地から（あるいは海外からも）たくさんの方が南相馬市に来ます。その人たちにもっと楽しんでもらえる、満足してもらえるための取り組みとしてキッチンカーを出し、さらには南相馬市の特産品や野馬追をイメージした商品を作り、その売り上げの一部を馬の飼育代などにする、という考えはとても素晴らしいアイデアだと思います。雲雀ヶ原祭場地での露店販売については、祭場地内は土産品店会さま、旧国道沿いについては原町商店連合会さまが管理していますので、みなさんのアイデアをお伝えしたいと思います。</p> <p>みなさんには、このアイデアを実現するためにはどうしたらいいかをさらに考えていただければうれしいです。例えば、どのように商品を作るか、誰が販売するのか、そしてどうやって多くの人に知ってもらい、買ってもらうかなどについて、先生や市内のお店の人のお話を聞きながら、もっと深く学んで、みんなで協力して実現できるように考えてみましょう。</p>
16	<p>僕は社会科学習で野馬追の課題として宿泊施設の不足が課題となっています。そこで考えたのは他県からの人に馬の良さや魅力などを伝えるために馬と触れ合えてかつ、牧場や馬を見ながら泊まれるところを作ればいいと思いました。</p> <p>相馬野馬追（5月最終土・日・月開催）の宿泊は、会場となる南相馬市周辺が最も便利ですが、非常に混雑するため、宿泊施設を増やしてほしいという観光客からの意見もありました。</p> <p>メリットとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つ目は野馬追では馬を近くでしか見れないが、施設に行けば馬に触れるし餌やりなどの体験ができるという点と</li> <li>二つ目は自然と動物と触れ合うことによってストレス軽減や 馬との距離が非常に近く、世話や乗馬を通じて人馬一体の癒しや深い繋がりを感じられる体験型宿泊である点です。</li> </ul> <p>そしてデメリットとして、衛生面や安全性などの面が心配されている。</p> <p>イベントとして</p> <p>甲冑を着て写真撮影や野馬追の儀式、神旗争奪戦ばいものを開催してとれた方には野馬追の限定品である野馬追が書いてあるクッキーやキーホルダーなどをあげる。</p> <p>次に夜ご飯は、野馬追の名物料理、戦に勝つという意味もあるカツオを使った料理などを提供したらいいと思いました。</p> <p>まとめ、相馬野馬追の課題に対しては僕は野馬追を楽しむのは一番大事だけど小さいイベントや楽しみを増やすことによってもっと小さい子やお年寄りでも楽しめる相馬野馬追にしたいと思いました。</p>	<p>相馬野馬追の開催の時には、全国各地からたくさんの方が南相馬市に来ますが、それ以外の時は、残念ながら観光客は少ない状況です。ですから、今後、鹿島のサービスエリア（セデッテかしま）の周辺を開発して、宿泊施設や相馬野馬追の体験や馬とのふれあいなどができる施設を建て、野馬追の時以外にも多くの人に来てもらおうと計画しています。</p> <p>昔から相馬野馬追を開催している南相馬市ならではの環境（馬を飼っている人がいること）や資源（相馬野馬追）を活かして、多くの人に南相馬市に来てもらい、喜んでもらえるような取り組みを進めていきたいと思っていますので、今回提案いただいたアイデアなども参考にさせていただきます。ありがとうございました。</p>